

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和4年5月24日

釧路市議会議長 松永 征明 様

会派名 市民連合議員団

代表者名 佐藤 勝秋



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	佐藤 勝秋 岡田 遼
出張先	札幌市
期間	令和4年 4月24日 ~ 令和4年 4月25日 (2日間)
用務	民主議員ネット・北海道 春期政策研修会
調査(研修)結果等の概要	1. 場所 ホテルポールスター札幌 2. 参加 約120名 【第1日】 <input type="checkbox"/> 講演 「プーチン・ロシアのウクライナ侵攻をめぐって」 講師 飯島 滋明 名古屋学院大学教授
備考	

注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

民主議員ネット北海道・春期政策研修会 概要報告

市民連合議員団

道内の地方議員を中心に「21世紀の分権型民主社会」の構築を目標に組織されている「民主議員ネット・北海道」の春期政策研修会に参加しましたので、以下、その概要について報告します。

□ 講演 「プーチン・ロシアのウクライナ侵攻をめぐって」

講師 名古屋学院大学教授 飯島 滋明 氏

(報告担当：岡田 遼)

2022年4月24日(日) ホテルポールスター札幌にて、「民主議員ネット・北海道2022年度政策研修会」が開催され、講師の飯島 滋明 名古屋学院大学教授(専門は憲法・行政法・平和学・医事法)より、「プーチン・ロシアのウクライナ侵攻をめぐって」と題して講演を頂きましたので概要を報告します。

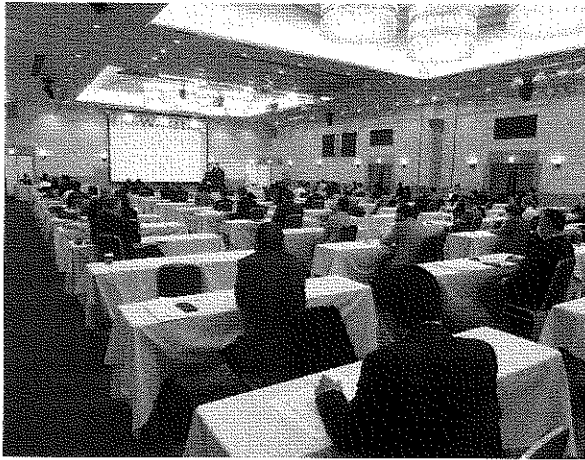


(飯島教授による講演)

2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領はウクライナに侵略戦争をはじめました。この侵略戦争を受けて、世界中で多くの市民が「戦争反対」の声を挙げています。学校や病院など民間施設への攻撃が行われ、女性や子ども、老人などの多くの民間人が犠牲になり、生活が困窮しています。

はじめに、飯島教授からは、過去にあった戦争の事例を交えながら、現在のウクライナ侵攻で行われている「言語統制」や「フェイクニュース」がどのような意味を持ち、効果をもたらすのかの説明がありました。

次に、プーチン・ロシアのウクライナ侵略と日本と題して及ぼしている影響や議論についての見解を述べられました。日本では軍備増強、核保有や核シェアリング、憲法9条の改正を主張する人たちが出ていますが、ロシアのウクライナ侵略に対して、「国連憲章」の「武力不行使の原則」は意味がないから改正せよという主張は、国際



(政策研修会会場全景)

社会で強くなっておらず、多くの政府や市民は「戦争」に反対し、ロシアに「国際法を守れ」と要求しています。

「憲法の平和主義を守れ」という主張には「非現実的」という批判がありますが、「武力で守る」との主張こそ、「戦争の現実・悲惨さ」を軽く考えすぎており、「軍備増強」「核保有」「憲法改正」では日本を守るところか危機にさらすということ、また、戦争にならないための、平時からの平和創造活動が必須であるとの見解でありました。

また、プーチン・ロシアのウクライナ侵略は「軍縮」、特に「核兵器禁止条約」の重要性も明らかとなっていると述べられました。プーチン大統領は「ロシアは世界で最も強力な核大国の一つ」と発言し、ウクライナに侵略しました。「核の保有」がプーチン・ロシアのウクライナ侵略を支える一因になっていることから、国際社会での侵略戦争をなくすためには「核兵器禁止条約」の実現も重要であり、日本政府の核兵器禁止条約の交渉にすら参加しなかった態度を改め、「核兵器禁止条約」の実現にむけて真剣にとりくむことが必要であると述べられました。

日本国憲法の「国際協調主義」は、そうした平和創造にむけた外交を求めており、憲法を改正して軍事を増強したり核兵器を持つのではなく、戦争の現実・悲惨さを認識して戦争を起こさせない、あらゆる平和的手段にとりくむこと、憲法の平和主義の理念を活かすことこそ、国際社会や日本の「平和実現」に必要な見解を示されました。

釧路市議会においても、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する決議」を全会一致で可決承認しましたが、いかなる理由があろうとも、「戦争」「武力の行使」は、決して許されるものではなく、ロシアのウクライナ侵略は「武力不行使の原則」を定めた「国連憲章」違反、明確な国際法違反です。改めて一刻も早くロシアは軍事行動をやめて撤退すべきであると確認したものであり、「平和」に対する知識を広げ、参考になる講演でありました。

以 上